

根雨でひと息ついてみませんか？

「まちなかカフェ根雨宿」がオープン



心地よい空間に心も体もリラックス。会話も弾む

8月1日、窪田書店（根雨）内に、「まちなかカフェ根雨宿」がオープンしました。

これは、地域住民やまちを訪れる観光客らが気軽に集える場所をつくりたいと、店主の窪田憲三さんが、日野町創業等支援事業補助金を活用して実現したものです。同補助金は、起業や異業種参入の際に対象経費の2分の1（上限50万円）を補助するもので、同書店の一角を改装し、オープンの運びとなりました。

オープン初日、開店時間の午前10時を迎えると、多くの町民が来店し、あつという間に店内は満杯に。来店



根雨駅から徒歩3分ほど。まちなかに待望の交流スペースが開店

客がコーヒーや紅茶を注文すると、手作りの菓子も振る舞われ、会話に花を添えていました。

長野県でのペンション経営のノウハウを生かし、同カフェをサポートする松尾信孝さん（貝原）は、「2年前からこうした交流スペースの必要性を感じていたので、今回のオープンは感慨深い。今後も継続して町民や観光客に気軽に寄ってもらえる場所にしていきたい」と抱負。訪れた人も、「実際に入ってみて、とても落ち着ける空間。また来たい」と、新たにできた交流スペースに期待を寄せていました。

カフェは、火曜日の定休日を除き、午前10時から午後4時まで開店しているとのこと。暑さを忘れて会話を楽しみに、一度訪れてみてはいかがでしょう。

「たたら」を体感。外国人誘致に期待高まる

在京外国人記者がたたらの魅力に触れる



鍛冶職人の匠の技に感嘆

8月3日、鳥取県主催のプレスツアーで、在京外国人記者20人が日野町を訪れ、まちの魅力を体験しました。

これは、在京外国人記者を対象にツアーを行い、首都圏などに訪れる訪日外国人の県内誘致を促進しようと企画されたものです。

2日から県内を巡り、3日は、日野町のたたら楽校と鍛冶工房「宮光」（宮脇鉄工所）を訪問。同工房では、近年、外国人に人気が高い刀剣やたたら製鉄をテーマに、実際に鍛冶職人への取材をするなど、その魅力に触れました。

福祉や地域に役立てて

郵便局長協会が車いすを寄贈



車いすを前に寄贈を祝う関係者ら

地域の高齢者など福祉に役立ててほしいと、一般財団法人「中国地方郵便局長協会」が、8月1日、町社会福祉協議会に車いす6台を寄贈しました。

これは、同協会が社会貢献活動の一環として行っているものです。贈呈式には、町社会福祉協議会の石田信広副会長をはじめ、埴田町長ら関係者が出席。石田副会長は「福祉だけでなく、地域や関係機関と連携しながら活用したい」と話すと、埴田町長も「災害時にも活用できるよう、検討してもらえたら」と期待を寄せました。



大漁だね！アユを両手に元気いっぱい

7月26日、ひのっこ保育所（津地）で、アユのつかみどりが開かれました。これは、アユのつかみ取りを通して、自然に対する理解を深め、ふるさとへの愛情を育てたいと、町水産振興連合会の協力を得て毎年行っているものです。約200匹のアユがプールに放されると、園児たちは大歓声。勢よく泳ぎ回るアユを、元気に追いかける園児たち。アユをつかまえると、「つかまえた」と笑顔を見せていました。

アユみたいにおつきく育てひのっこたち 保育所でアユつかみ取り



早速来年への意気込みを語る林原さん

スィム3km、バイク（自転車）140km、ラン42・195kmを走る「鉄人レース」ともいわれるトライアスロンで、セルプひの（社会福祉法人祥和会）所長の林原正彦さんが、今年も躍動しました。7月15日、米子市で開かれた第38回全日本トライアスロン皆生大会・男子年代別（35～39歳の部で第3位（総合20位）の好成績を収めました。連日続く酷暑により、有力選手もリタイアやペースが落ち込む中、セルプひの大応援団や家族の声援に支えられた林原さん。二年で二番楽しみな大会。来年もぜひチャレンジしたい」と抱負を語っていました。

伝統の大会で今年も好成績

セルプひの・林原さんが、全日本トライアスロン皆生大会で年代別第3位



和太鼓などの楽器が織りなす情熱あふれる演舞

世界的に活躍する和太鼓集団「舞太鼓あすか組」の公演が、7月28日、町文化センターで行われました。同公演は昨年に引き続き2回目。今年、台風の接近により一度公演が延期となったものの、当日は満員に。会場を圧倒するパフォーマンスで来場者を魅了しました。あすか組のメンバーは迫力ある和太鼓の演舞のほか、舞踊や和楽器の演奏も披露。大小さまざまな和太鼓を自在に操る姿に大きな拍手と歓声が送られていました。

心揺さぶる圧倒的パフォーマンス 舞太鼓あすか組日野町公演



息の合ったコーラスで会場を魅了

日野川沿いで活動しているコーラスグループが一同に会し、日ごろの練習の成果を発表する、第14回日野川合唱フェスティバル（日野川合唱連盟主催）が、7月22日、町文化センターで開かれました。当日は、各町で活動する9つのグループが参加し、日野町からは3つの合唱団が日ごろの練習の成果を披露しました。各グループはお揃いの衣装で登場し、童謡や唱歌などさまざまな曲で息の合ったコーラスを披露。会場では一曲終わるごとに大きな拍手が送られていました。

歌声で広がる地域の輪 日野川合唱フェスティバル